

製品名: クローディン 11 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08892**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	CLDN11 OSP OTM
別名	Claudin-11 (Oligodendrocyte-specific protein)
遺伝子 ID	5010.0
SwissProt ID	O75508
免疫原	ヒトクローディン 11 由来の合成ペプチド

背景

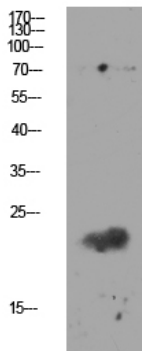
この遺伝子は、クローディンファミリーのメンバーをコードしています。クローディンは膜貫通タンパク質であり、タイトジャンクション鎖の構成要素です。タイトジャンクション鎖は、上皮細胞シートまたは内皮細胞シート間の細胞間隙を溶質や水が自由に通過

するのを防ぐ物理的な障壁として機能し、細胞極性とシグナル伝達の維持にも重要な役割を果たしています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、中枢神経系 (CNS) ミエリンの主要構成要素であり、オリゴデンドロサイトの増殖と移動の制御に重要な役割を果たしています。マウス研究では、遺伝子欠損により難聴と精巣のセルトリ細胞上皮表現型の消失が起こることが示されました。このタンパク質は、ヒトの血液精巣関門 (BTB) におけるタイトジャンクションタンパク質であり、BTB の破壊はこの遺伝子の機能不全に関連しています。異なるアイソファンクションをコードする選択的スプライシング転写バリエーション:カルシウム非依存性細胞接着活性を介して、タイトジャンクション特異的な細胞間空間の閉塞に主要な役割を果たす。類似性:クローディングファミリーに属する。サブユニット:テトラスパニン 3/TSPAN3 と相互作用する。

研究分野

細胞接着分子 (CAM)、タイトジャンクション、白血球の内皮透過移動、

画像データ



マウス腎臓溶解液のウェスタンブロット分析、抗体は 1000 倍に希釈した。二次抗体は 1:20000 倍に希釈した。